

避難してよかった。

犠牲者0名をめざして

ここでは、今まで「土砂災害」について学習してきたことを思い出しながら、実際に、土砂災害を経験した人々のお話をうかがってみましょう。

レポーターの佐藤がご案内します。

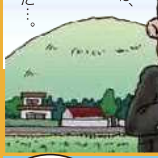
わたしは今、鹿児島県垂水市にいます。

そこをさかかたに、住民の防災に対する意識が変わり始めたのです。

それでは、皆さんにお話を聞いてみましょう。



平成17年、垂水市では、台風の大雨により、多くの土砂災害が起ころ、5名の命が奪われてしまいました。



どのような様子だったんですか？



あつという間の出来事でした。まだ避難指示がでなかつたので、避難していません。



住民の方々と協力しているんですね。



「総合防災訓練」に参加することで、住民に「防災意識」が生まれ、危険を感じたら「みんなで協力して避難する」心構えもできたんじゃないかと、行政が出来ることは限られているから、自分の身は、自分で守る。」ことが大切なんじゃないかと。

※行政とは、町や市町村など



あなたの防災意識を教えてください。

雨が降って川の水が茶色くにごると注意しています。近所に声をかけて、みんな避難するようにしています。



あなたの防災意識を教えてください。

「自分だけは大丈夫」ではなく、「いつ册れるかわからない」という危機感を持つようになっています。



では最後に、この本を読んでいる子供たちに一言お願いします。

自然はわからない、災害が来るとは限らない！

災害はあつという間、早めの避難が大切！

梅雨の前には避難袋の確認！

「まだ大丈夫」自己判断は危険！

「命が一番！」

家やものより命が一番！

避難して本当によかつた！



土石流危険渓流って看板があるよ。

このけけもやつぱりシラス？大丈夫かなあ？

雨の日に、川で遊ぶのはとつても危ないね。

一番近い避難場所はあの公民館よ。

鹿兒島の土は、崩れやすいので、いつ土砂災害が発生してもおかしくないんじゃない？いざという時の準備は、家族でおかなければならないよ！